

経営比較分析表（令和5年度決算）

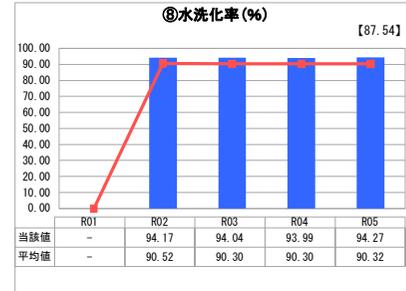
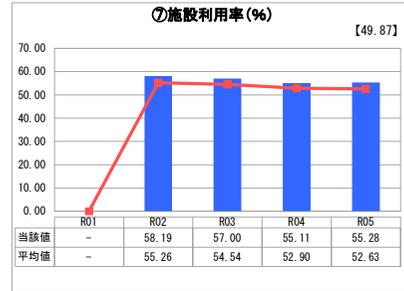
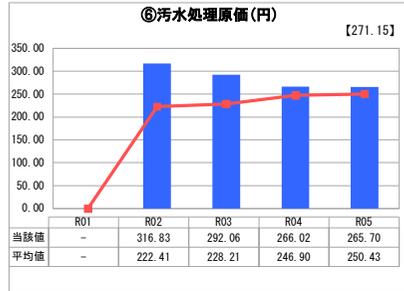
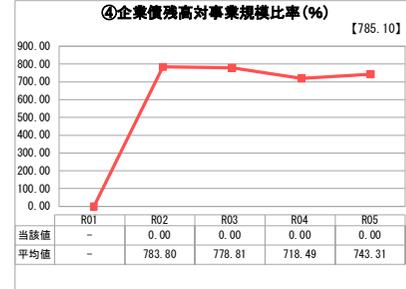
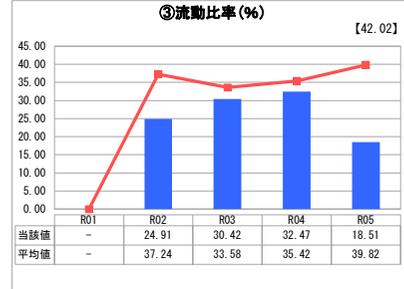
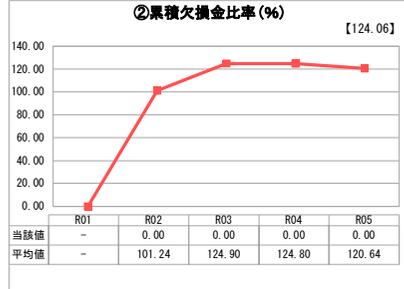
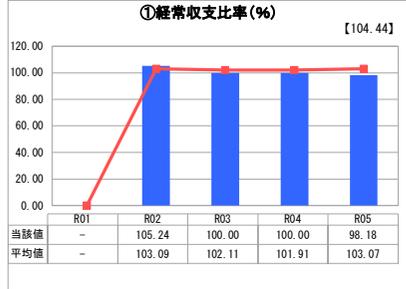
岡山県 総社市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	84.03	8.22	100.30	3,520

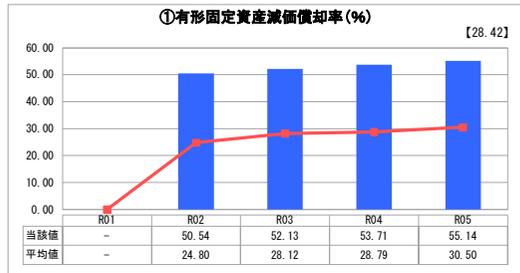
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
69,731	211.90	329.08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,722	3.91	1,463.43

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
概ね100%となっておりますが、使用料収入の不足分を他会計からの繰入金により、賄っている状況です。経営改善に向けて、引き続き経費削減に努めます。

②流動比率
100%を下回っていますが、他会計からの繰入れにより支払い能力は保たれています。企業債の発行額を償還額以下となるよう抑制し、将来的には改善を見込んでいます。

③経費回収率 ④汚水処理原価
使用料で回収すべき経費を他会計補助金に頼っているため、経費回収率は100%を下回っています。経営改善に向けて、引き続き経費削減に努めます。

⑤施設利用率 ⑥水洗化率
整備の完了から相当期間を経過しており、高い水洗化率を維持し、施設使用率は類似団体より高くなっています。引き続き、効率的な施設の利用に努めます。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水事業は昭和57年に事業着手しているため、老朽化が進んだ施設が多く、類似団体よりも高い数値となっております。
今後は最適整備構想に基づき、投資の平準化を図り計画的な施設管理を行います。

全体総括

農村部の人口減少や節水機器の普及等により、使用料収入の増加が見込めないことから、さらなる経費の縮減に努め、経営改善に取り組んでいきます。
老朽化した施設については、経営状況を確認しながら、補助事業等を活用した補修やダウンサイジングを行い、持続可能で効率的な施設運営に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。